

2025 年 10 月 7 日(火)

報道関係者各位

オリザ油化株式会社

頻尿・前立腺対策にさらなる前進
シーベリーエキスとノコギリヤシエキスの相乗効果と
その黄金比についてアメリカでも特許取得！

オリザ油化株式会社(本社:愛知県一宮市、代表取締役:村井弘道、以下「オリザ油化」)は、2015 年に上市した「シーベリーエキス」について、前立腺肥大抑制が期待できる作用およびノコギリヤシエキスとの相乗効果とその黄金比を発見し、日本で特許を取得しておりました(特許 7237204 号)。同特許について世界特許出願(PCT 出願)をしており、この度、**アメリカでも特許を取得しました(US12414977)**。

■ 特許化された作用のメカニズムについて

当社では、シーベリーエキスとノコギリヤシの組み合わせについて以下の作用を見出しました。

✓ **シーベリーエキスとノコギリヤシを組み合わせることで相乗効果**

前立腺肥大抑制作用をもつ植物エキスとしてノコギリヤシエキスが広く知られています。そこで、ノコギリヤシエキスとシーベリーエキスを組み合わせて前立腺肥大の原因となる 5α -レダクターゼ(※)の阻害作用を評価したところ、相乗効果を示す黄金比 3:1~1:2(ノコギリヤシエキス:シーベリーエキス)を発見しました。

✓ **シーベリーエキス単独でも 5α -レダクターゼ阻害作用**

シーベリーエキス単独でも、 5α -レダクターゼを阻害することを見出しました。

✓ **上記データについて、日本のみならずアメリカでも特許取得！！**

※) 5α -レダクターゼと前立腺肥大について

前立腺肥大は、30 歳代から始まり、50 歳で 30%、60 歳で 60%、70 歳で 80%、80 歳では 90%の罹患率といわれています。前立腺肥大は、ジヒドロテストステロン(DHT、活性型男性ホルモン)による前立腺細胞の増殖が原因として認知されています。この DHT は、テストステロン(男性ホルモン)が 5α -レダクターゼによって生成される物質です。

また DHT 生成を抑制することで、前立腺肥大抑制の他にニキビの発生や増悪、さらには男性脱毛症を抑制することが期待できます。

■ 今後の展望

オリザ油化では日本及び米国での特許取得により、サプリメントなどの製品にもシーベリーエキスとノコギリヤシエキスの上記の濃度比で配合する提案を世界レベルで積極的に強化してまいります。



シーベリー果実